

平成27年度「未来づくり説明懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月22日（金）午後7時～午後9時
□会 場	勤労福祉センター
□参加者	町側11人、地区側23人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ

同趣旨のため省略（5月8日（金）宮津公民館参照）

3. 「住民税1%町民予算枠制度」について説明（政策協働課長）

わくわくコラボ事業・わくわくアイデア事業について

制度の概要説明及び募集要項に沿った各事業の説明及び応募促進型講座の紹介をする。

4. 地区からの提言・質問事項についての主旨要約

質問（1）大字阿久比区内では、県道等制限速度の明示された道路を除き、「ゾーン30」の指定をして欲しい。特に、町道4064号線と4066号線については、最近交通量も増加傾向で、スピードを出す車両も多いので、数ヶ所の「ハンプ」の設置をしたら、事故防止になると考えるが、町の考えをお聞きしたい。そして、愛知県の社会資本総合計画についてでは、「安全で快適な生活道路の整備」の計画の中で、町は県にどの様な、計画・要望を出されているのか。（阿久比）

答）「ゾーン30」の指定は、小・中学校周辺などで、主要幹線道路（片側1車線以上）で囲まれた地域全体を規制するものであり、大字阿久比地内だけを限定して、区域を指定することはできません。以前にも他の学区において、同様の要望があり、半田警察署と協議を行いました。阿久比町内には、碁盤の目のように小規模のエリアで囲まれた地域が無いため、指定は難しいとの見解でした。また、あまりに大きなエリアをゾーン30の指定区域にすると、区域内の全ての道路が、30キロ規制の対象となりますので地域の同意が必要となります。なお、特定の道路について、速度規制をしたい場合は、大字、自治会より要望書をいただければ、町も併せて公安委員会へ要望いたします。（総務部長）

答）「ハンプ」の設置につきまして、速度抑制としては、効果があると期待されますが、騒音や振動が発生するため、住宅地内において設置する予定はございません。愛知県の社会資本総合計画の「安全で快適な生活道路の整備（防災・安全）」では、幹線道路の点検、補修計画策定や補修工事などの補助金交付を要望し、道路舗装修繕計画を立てた上で、舗装補修を進めていきます。（建設経済部長）

関連質問）道路のことだとすぐに公安委員会、半田警察とかにというかたちの返答で終わ

ってしまうのですが、先ほどの30キロ制限、大きな地域だけしかできないということですが、字で書類を出せばまた一度公安委員会のほうに提出していただいで、可能性は出てくるのでしょうか。(阿久比)

答) ゾーン30の指定区域というのは大変難しいです。一昨年警察と協議した段階では、阿久比町内を見渡しても、ゾーン30に指定するに値する地域は見当たらないということでしたので、ゾーン30は難しいですけれども、特定の道路の速度規制をするにあたっては、これも公安委員会の規制の関係になりますので、ご要望があれば町へ出していただいで、町と地区の要望書をあわせて公安委員会へ出したいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします(総務部長)

質問(2) 丸山公園西側町道4064号線の、公園北西角から北へ阿久比公会堂までは、小中学生の主要通学路でもあるにもかかわらず、道幅は非常に狭く、かつ通行車両も多く、一部町道の西側が1m弱斜面になって、滑り落ちる可能性があり、早急にガードレールの設置をお願いしたい。(阿久比)

答) 当路線については、公会堂の東から南へ40mほどは、現在道路の拡幅工事を進めています。地権者の方には、ご理解ご協力をいただき、お礼申し上げます。ガードレールの設置につきましては、隣接地の承諾をいただき、大字より要望していただきますようお願いいたします。(建設経済部長)

質問(3) 阿久比町のホームページに、昨年11月植大駅の自転車置き場に、防犯カメラの設置の記事が掲載されていましたが、現在町内の防犯カメラは何台設置されているのか。今後の設置計画についてお聞きしたい。順次、ゴミステーションの箇所にも設置して、回収できない家電等の廃棄者の特定とか、資源ごみの盗難防止対策にも対応されたらどうか。(阿久比)

答) 防犯カメラは、現在、町内の主要道路、駅、公園等に32基設置されており、今年度も6基設置する予定ですので、合計38基になります。防犯カメラの設置につきましては、犯罪抑止に効果があると思っておりますので、今後も必要と思われる箇所への設置を継続してまいりますので、よろしくお願ひいたします。(総務部長)

質問(4) 丸山公園内に、幼児用滑り台、ブランコの設置をお願いしたい。(阿久比)

答) 町内には、町の管理する公園が41箇所あり、その内遊具が設置してある公園は35公園あります。各公園の遊具は、定期的に取り換えを計画していきたいと考えております。丸山公園の遊具につきましては、この計画の中で遊具の取り換えを行っていく予定で、その際にご要望の幼児用滑り台、ブランコの設置を検討しますので、よろしくお願ひいたします。(建設経済部長)

関連質問) 順次ということですが、だいたいいつ頃の予定ですか。計画性というのはいないわけですか。(阿久比)

答) 今の段階でいつ頃という返事はできません。緊急性を要する公園が他のほうでありますので、そちらのほうを先にと計画をしているのですが、丸山公園につきましては、幼児用滑り台やブランコは新規の設置になりますので、まだちょっと先になるかと思いません。(建設経済部長)

質問(5) 棕岡踏切周辺と桜屋(GS)前のマンホールの排水対策は、過去数年にわたり要望を出しているが、いまだ実現していない。管径を大きくするか、分流するか根本的な解決策を早急に打ち出してください。同一場所に排水が流れ出てくる為、起こる問題でもあり、排水経路の見直し検討頂きたい。(棕岡)

答) 棕岡踏切周辺の排水対策については、管径の拡大や別ルートへ分流することを含めて、現在検討中であり、ある程度まとまったところで、地元とも相談をしますので、しばらくお待ちをいただきたいと思えます。(建設経済部長)

関連質問) 検討中とはどこまで進んでいる状況でしょうか。(棕岡)

答) ガソリンスタンドの西側の道路、前の棕岡駅に行く細い道がありますけども、実はあそこには大きな側溝が無くですね、新海バイク屋さんのほうに小さなU字溝180くらいだったと思えますけど、それがあただけで、なかなかそれで排水ができないのかと今現地を見させていただきました。今年考えているのが、スタンド側の道路の端にU字溝のちょっと大きなものを入れて、南のほうへ排水を考えている。南には前の棕岡駅の北側に小さな踏切があると思えます。そこには西から来る水路がマンホールとして横断をしていますので、そこへ一度排水をしたらどうかと考えているところです。ちょっと記憶が薄いのですが本年度予算がとったか、ちょっと記憶が定かでないですが、今はそういった計画をしている。遅くとも本年度若しくは来年度で施工は可能かと思えますので、また、その時には地元の区長さんに、設計をする前のある程度できた段階で、ご相談をおかけしたいなと思っておりますので、よろしく願います。(建設経済部長)

関連質問) あそこは集中して上のほうから雨水が流れてきます。あの雨水をあそこに集中しないように、他へ流すというような方法はあるのでしょうか。(棕岡)

答) はっきり言いましてありません。流れてくる場所があそこに全部集中しているわけですが、それを途中でどこかに流せるようなところがないというのが現状だと判断していますが、もし、ここに水路があるよというような昔からのそういうのがあれば教えていただきたいと思えます。特に管径を大きくするという話もないわけではないのですが、踏切を渡るところを大きな管に変えるということは、その先の水路も全部影響してきますので、名鉄を横断するのはかなりの金がかかりますから、とりあえず、南のほうへサブで水

路をちょっと大きなものを持って行って、今ある踏み切りのところへ一度流して、状況を見たいというのが私の考え方ですが、よろしくお願いします。(建設経済部長)

関連質問) 小さいところの踏切を横断している管があるからそこへというようなお話しでしたが、前回、桜屋のところの前の管、町のところから推進で抜いたらということで推進の見積もりをして2億どれだけかかるというお話しで、それは無理ですよという去年のお話しでしたよね。コモンヒルズの47戸の積水が開発したところありますよね。あそここの下に推進で抜いているわけです。造るときに線路渡して。今の棕岡駅の跡地に広いところがあるので、あそこから抜くなら別に推進でやるならそんなに難しいことではないと思います。土地を借りたりすることなどに非常にお金がかかるという去年のお話しだったので、今の小さい踏切のところを横断している管は昔の管なので、そんなに太いものは入っていないと思います。今そこを流れているものですから、そこに集めても一緒のことです。流れてこないようにするか。流れてきたやつを抜くか。しかないと思うのですよ。よく現地を調査していただいて、それからやったほうが、無駄なお金を使わないほうがいいと思います。(棕岡)

答) ご提案ありがとうございます。今言った小さな踏切を横断している管というのは、うちが確認したところによると、600径のヒューム管が通っているということですので、かなりの排水が可能かと、現在そこへ流れてくる水はちょうど県道の部分からなので、三角地として考えると面積がそんなにたくさんないのかなあとと思いますので、かなりの排水に余裕があるのではないかという風にみえています。例えば、駅が無くなったからどこでも抜けるじゃないかという話ではないですか。(建設経済部長)

関連質問) そうではなくて、抜こうとする工事は楽ですよということ。そこで行えば、土地があるから、駅をつくることに関して、かなり棕岡は協力して、安く土地を提供して、あそこに駅をつくったけど、駅が無くなっちゃった。土地を返してちょうだいと言いたい人もいると思うのですよ。だから、有効に使わないといけない。名鉄さんにも工事やるときは協力してもらいたい。(棕岡)

答) 確かにどこでも抜けると思います。もう駅もありませんので、どこに架設をつくってもそんなに問題はない。ただ、借りられるかどうかの話ですが、借りられるとしてどこでもいけると思うのですが、渡った東側に水路が実は1本しかない。渡ったところに飲み屋さんがあって、その隣に1本だけ東へ向かっている大きな水路がある。どちらにしても、そこへ持って行く以外はない。(建設経済部長)

関連) アピタ行く道の横に水路がありますよね。結構大きな。あそこまで管を抜いたらいいのではないのでしょうか。(棕岡)

答) その水路はそんなに大きくない。要は道路沿いにある水路ですが、私はその水路を見たのですが、500くらいのプレハブの水路ですので、そんなに大きくないですね。田ん

ぼの排水路用の一番小さい部類の水路の断面ですので、それを使うことは難しいかな。というのは田んぼの排水路って勾配が結構ないです。なおかつ、道路に対して平行に水路があるものですから、それに直角に道路を渡って、どんと水を出すとそこで溢れちゃうということが必ずでてくるのです。今言った踏み切りのところは、まっすぐそのまま東に向かって水路があります。その水路の断面は確か、1000くらい、1メートル・1メートルくらいの大きな水路ですので、かなりの排水があっても受けられるのではないかと考えています。勾配がないのは事実ですけど、断面からいけば、田んぼの500・500のプレハブの水路に流すよりは、全然余裕があるのではないかと考えておりますので、そういう案を考えているところです。(建設経済部長)

質問(6) 消防団第4分団消防車庫及び、公園周辺の雨水を流している主要な水路にもかかわらず今だに私有地(平泉寺)を流れています。水路整備の検討をお願いします。要望書提出：平成26年7月23日 水路整備及び維持管理について(棕岡)

答) 今年度、用地取得と登記まで行い、工事につきましては、来年度予算を確保し施工する予定です。(建設経済部長)

関連質問) これは今年度中に仕事ははいるということで考えてよろしいですか。(棕岡)

答) 昨年度私が課長の時に話を聞いたのですが、その後、平泉寺さんのほうが、最初は寄附という話だったのですが、寄附ならすぐ受けて、今年度工事できるねという話だったように記憶しています。そしたら、その寄附する話をもう少し伸ばして欲しいということを知りましたので、今年度の予算では用地の取得と登記までの予算しかちょっと組めなかったということになります。それができれば、来年度予算を取って工事をする予定です。(建設経済部長)

関連質問) その平泉寺さんの土地を買うということですか。前お願いしに行った時の話しでは、土地は売らないというような話しを聞いたのですが、それがひとつ問題あって、実際の土地の面積が広いらしいのですよ、登記してしまうと、面積が増えるのが明らかになる、固定資産税が大分増えるような話で、寄附してそこを工事を町でやってもらうというような話を私は聞いていたのですが、それは平泉寺さんのほうから言われたわけですか。(棕岡)

答) 用地の取得というか、寄附したいという話は前から私も聞いているのですが、その寄附の話をちょっと待ってくれというのが平泉寺さんから話しがでたという風に私は聞いているのですが。(建設経済部長)

関連質問) 土地の買収をせずに工事だけでいいという風に私は聞いていたのですが。だから買収のお金は要らないと思うのですが。(棕岡)

答) 買収の話ではなくて、寄附をしていただけるということを知っているのですが。その寄附をするのをちょっと待ってくれ、もうちょっと後で必ずするよ。という話で工事は予算が取れない。(建設経済部長)

関連質問) 先ほどのお話しでは、買収する予算も付けているという話しでしたから。(棕岡)

答) 予算は用地取得と登記の費用はこちらで見ないといけないのでその費用をみている。土地の買収の費用は残念ながらみていないです。(建設経済部長)

質問(7) 県道阿久比半田線セブンイレブン阿久比棕岡交差点に信号機設置。この交差点は、交通量も多く町道から県道に出るのも大変苦勞し、事故も起きていますし、ヒヤリとすることも多々あります。また、児童の通学路になっております。事故を回避するためにも信号機の設置をお願いいたします。(矢口)

答) 以前に公安委員会に要望を出しておりますが、セブンイレブンのところの交差点は、角前田の信号交差点から近いことと日中の東西道路の交通量が少ないなどの理由で設置は難しいとのことでしたが、地区からの信号機設置の要望書を提出していただければ、町の要望書と併せて半田警察署を通じ公安委員会に要望してまいりますので、よろしくお願ひします。(総務部長)

関連質問) 毎年挙げていますが、公安委員会などがありまして、なかなか実現はできにくいと思いますが、今回聞いたのは、信号機の設置要望書を提出したほうが良いよと、そういう話をお聞きしたのですが、矢口地区からここに信号機を設置してくださいという要望提出でよろしいのですか。(矢口)

答) その通りです。地区から要望書を町へ提出していただいて、あわせて町の要望書と一緒に半田警察署を通じて公安委員会へ要望されます。地区住民から強い要望があるということをつけて出したほうが、多少でも効果があるかと思っておりますので、ぜひ、そうしていただきたいと思ひます。(総務部長)

質問(8) 南部宅老所の閉鎖要望。利用者が高齢者女性のみ(約35名)男性の入れる状況ではありません。また、本来ならばボランティアで運営のはずが民生委員にその仕事が回ってきますので、本来の民生委員の仕事に支障をきたしています。(矢口)

答) 民生委員さんからのご質問ということですが、日頃は、阿久比町の福祉行政にご尽力いただきありがとうございます。ご質問の、宅老所ですが、「高齢者健康保持対策事業」として、介護保険の予防活動として、概ね65歳以上の家に閉じこもりがちな高齢者の方を対象に、趣味活動や軽い運動などを行い、一日を楽しく利用していただくことを目的に行っています。現在、小学校区に各1ヶ所の4ヶ所あります。週2回、10時~午後3時頃

まで、地域の民生委員さん、ボランティアグループの皆さん、いきいきクラブ会員の皆さんのなど多くの皆さんのご協力、地域の皆さんの支え合いにより運営していただいています。本当にありがたく、感謝申し上げます。自助、互助、共助、公助という言葉があります。東日本大震災から、特に防災関係でよく耳にされていると思いますが、行政が行えることには限界があります。自助とは自分の力で、互助とは家族、近所の人、共助は地域、公助は行政のそれぞれの支援の形です。現在の阿久比町はまだ人口減少になっていませんが、10年もすると減少に転じると考えます。今後、益々の高齢化を考えますと、高齢者に必要なニーズをすべて公的な支援や保険制度で補うことは困難であります。自助、互助を含め、地域で支え合っていくことが重要です。先月4月1日号の広報と一緒に、阿久比町地域福祉計画の概要版を全戸配布させていただきました。今後の阿久比町の福祉についてまとめた計画です。すべての人が地域で共に生き、支え合う「つながる」まち、あぐいが、基本理念です。みんなでつながって支え合って、だれもが住みやすいまちにしましょう。というものです。まさに、各地域の宅老所の運営につきましては、この基本理念のとおり、地域の民生委員さん、ボランティアグループの皆さん、いきいきクラブ会員の皆さんのなど多くの皆さんがつながって、皆さんの支え合いにより、すでに実践していただいているものでございます。宅老所の運営方法につきましては、各地域それぞれ運営、実施方法は異なっていますが、大きな負担を感じてみえるということですので、これからの宅老所運営につきましては、皆さんからご意見をいただきながら、ご協力いただいている皆さんの負担を少しでも軽くできるような方法などを、一緒に検討していきたいと考えますので、今後とも、皆さんのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。(民生部長)

関連質問) 南部宅老所には問題点が3つあると考えました。まず、1点目は利用者全員が高齢の老婆でございます。男はおりません。男の人はないがしろにされている。偏見に満ちた事業であります。問題点2。町委託金117万9千円を利用者35人で割るとひとり当たり3万3千円でございます。草木宅老所においてはひとり当たり12万円のお金が町から出ています。最近流行のふれあいサロン、いきいきサロンなどを団地などでやりだしたのですが、これが3万円。ひとりじゃなくて1事業3万円。60人の利用者で割るとひとり当たり500円。500円と12万円。ちょっと開いた口がふさがらない状態です。問題点3。南部学区の民生委員は全員南部宅老所の運営役員に組み込まれて、一応ボランティアというかたちで活動をさせられています。私は老婆に精力を吸い取られてしまいフラフラ状態で地区活動を行う気力が湧いてきません。また、女性ボランティアの中には健康を害している方や精神を病んでいる方も見受けられます。そもそもこの事業は女の涙と意地の歴史でもあり、女性民生委員の健康と健全な家庭生活を守る必要があると思います。民生委員の多くは社会貢献を目指し、献身的に打ち込んでいます。しかし、そもそもこの事業は役場が当時の女性民生委員に押し付けた事業であろうと推測されます。要するにパワハラ事業ではないでしょうか。頼まれたから仕方なくやっているだけの将来への継続性にかけるやりの無い事業はボランティアの心が疲弊し、利用者にはよろしいかもしれないが、ボランティアは疲れきってしまい、片手落ちな偏見に満ちた事業になっています。また、男の利用者を連れて来いと言われる人がいますが、これはセクハラ行為に近いのではないのでしょうか。女性ばかりのたまり場に男がひとり1日中入れさせられていることは

男に対するセクハラであると思います。屈辱的な辱めを味わうことでしょう。どうしても南部宅老所の事業を進めたければ、名称変更をすべきです。例えば姥山クラブなどです。2025年問題もすぐそこまで迫っています。多くの市町村ではふれあいサロン・いきいきサロンなど軽い事業を自治会ごとに設けているようです。身の丈にあった事業への変更を希望いたします。(矢口)

答) 貴重なご意見・ご指摘ありがとうございます。まず、最初に女性ばかりでという、男女の比率なのですが、確かに他の3施設含めまして、男性の参加者は2名しか出席しておりません。ほとんどの方が女性という状況でして、色々な方に男性の方も来ていただくように声がけをしていただいて、家に閉じこもらないようにと努力はしておりますが、そういう現状ですのでご理解をいただきたいと思います。また、費用ですが、宅老所のほう、南部ですとひとり当たり3万3千円、草木ですと12万円ということなのですが、一概に草木がこれだけ高いか比較はできないところがあります。南部の宅老所は公共施設でやっていますので、家賃経費、賃貸料が発生しませんが、草木ですとそちらの費用もありますので、ひとり当たりで割り返すと高額になっているところがあるかと思えます。いきいきサロンのほうはいきいきクラブのほうが進めている事業かと思いますが、3万円ということですが、参加される方の口に入るものについては当然皆さん自己負担でやってみえますので、ここの3万円のところの経費を詳しくは調べてないですが、電気代につきましてもほとんどが公共施設でやってみえて、地区のほうが悪意で負担していただいているという状況ですので、こういうところもご理解をいただきたいと思います。それと、ボランティアの方が疲れていてパワハラ事業ではないかということなのですが、宅老所が無くていいのかという話が出てくると、町としては健康を維持するため、高齢者の方に地区で頑張ってもらいたいと思っておりますので、宅老所の事業は当然継続していきたいと思っています。それと、ふれあいサロンを進めてはどうかというご提案がありましたが、町としても今回の地域福祉計画の中でも社会福祉協議会などとも連携して、こういう事業に取り組んでない地区がまだまだたくさんあるものですから、サロンだとか小地域福祉活動、社会福祉協議会が進めている活動、それといきいきクラブが進めている事業、なんらかのかたちで取り組みやすい事業を、地域で支えあう、地域で孤立をさせない、という事業に取り組んでくださいと進めていますので、この宅老所を無くして欲しいという言葉はちょっとご勘弁いただきたい。町としては継続して進めていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。それから、そういった負担を感じているということですので、すみ分け方ですね、宅老所の運営方法につきましては各地域にお任せしてあります。できる形で運営していただいて結構ですという形でお話はさせていただいておりますので、また、そういうようなところで色々のご意見いただきながら、負担を減らしていくように検討していきたいと思っていますので、ご理解よろしく願いいたします。(民生部長)

関連質問) 女性の民生委員はもう限界だと思うのですが、ボランティアをやってもいいという方も今現に南部の宅老所に来てみえるので、一回解散して、地区でふれあいサロンやいきいきサロンのほうに、そちらで新しくすみ替えして、一回宅老所は潰したほうが良いと思います。もう限界です。(矢口)

答) 4つの宅老所の今やってみえる方に聞き取りをしてきました。どの宅老所も廃止の意見はどうかということ伺いましたが、廃止して欲しいと言われるところはどこもございませんでした。何らかの形で、参加されている方が喜んでいただけるのであれば、何とか頑張って続けていきたい。確かに大変だという地区もありましたが、できる形で続けていきたいという声が全ての施設から出ていましたので、ご理解いただきたいと思います。矢口地区のサロンですが、そういったことも矢口の地区として進めていただければ結構かと思しますので、ご理解よろしくをお願いします。(民生部長)

関連意見) 女性はみんなの前で言わない。絶対言わない。昭和の女は口が堅い。平成の女はべらべらしゃべるかもしれませんが。こっそり、どうだね。と聞くと、ポロポロッと本音を言ってくれる。であえてこういったことを言わせてもらっているけども、私自身も体の調子を悪くしたので、ストレスがかないません。女性はかなり負担がきて、はっきり口には出さないけども、かなりまいっていると思います。(矢口)

答) それでは今後もう一度、今宅老所をやってみえる方に聞き取り、相談をして今後どうしていくかということも含めて、やり方含めて、相談検討していきます。聴き取りのほうも女性職員に行ってもらいました。その時に廃止の意向はありませんという回答でしたので、私が直接聞いたわけではありませんので、どちらにしても一度検討していきますのでよろしくお願いします。(民生部長)

質問(9) 矢口公園に大型消防車を。矢口公園は災害時の避難場所に指定されていますが、大型消防車の侵入ができますか。都市計画道路の話がありました但现在どのようになっていますか。(矢口)

答) 矢口公園への大型消防車の侵入については現在、半田消防阿久比支署に配備してある消防車両のうち3号車水槽車(10トン)及びはしご車以外の車両4台(2号車ポンプ車・1号車タンク車(1.5トン)・救急車は、進入可能であると阿久比支署にて確認しております。(総務部長)

矢口公園のグラウンドについては、暗渠排水管等は埋設されていないので入ることは、可能です。都市計画道路草木岩滑線については、阿久比矢高地区の土地改良事業の進捗に合わせて整備を予定しております。(建設経済部長)

関連質問) 矢口公園近辺は住宅がたくさんありまして、北側道路、阿久比から上がる道路と矢口地区の道路の幅も広いものですから、住宅も多いのですが、あってはいけない火事などがあつた場合に、大型車が来て入って来られればよいと思いますけど、そう思ってこういう要望を出しました、一応あそこは大型じゃなくて中型車しか通れないという風になっていると思いますけど、ほとんどの消防車というのは中型なのですかね。先ほど言われましたはしご車とタンクは別として。(矢口)

答) 今現在阿久比支署には全部で7台ありますが、そのうちの1台は救急の高規格車、もう一台が救急の予備、もう一台はバンの広報車ですので、それ以外のものが消防で使う車両になります。うち2台は先ほどもいいました10トンの水槽車とはしご車ですので、これは矢口公園までは入って行けませんけども、それより前のところに待機するところまでは、大規模な火事になった場合は当然出動することになるかと思えます。それから、ほんとうの大規模な火事になれば、知多中部管内の半田市や東浦からも応援が走ってきますので、そういう点では、道が狭くても何らかの水利を確保して消火活動には入れると考えております。(総務部長)

質問(10) 以前半田一の草病院から植地区への道路の話があったと思いますが、今現在どのような状態になっていますか。(矢口)

答) 環状線の整備計画につきまして、環状線は愛知県の施工事業であり、名鉄河和線との交差方法、県道阿久比半田線との交差方法について、現在、愛知県にて検討されております。今後も、早期着手していただくよう、県や県議会など関係機関に要望してまいります。(建設経済部長)

意見) 昨年度未来づくり懇談会の時に矢口地区から野良犬、野犬の話をしたところ、町をはじめ皆さんが早急に対応してくれたことをここで御礼申し上げます。ただし、今はまだ、あまり減っていないみたいですね。阿久比だけの話ではないものですから、よそからはいつてきたりもしますけどね。一応その御礼だけは申し上げます。(矢口)

5. 参加者との懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

質問) 町長さんをお願いしたいと思うのですが、阿久比の問題ではなく、知多半島の問題で、上水、飲み水。これ昔から長良川に変わってから、木曾川の水が安全で、きれいな水で、おいしくてということで知多半島から各市町お願いがきているかと思えますが、やっぱり、今現在の首長では阿久比の町長さんが一番ベテランかなあと私は思っております、ひとつリーダーシップを発揮していただいて、今が良いと思うのは伊藤議員の親方の二階さんが、これは理屈で言っているよりも政治的に決着を、大物の政治家が動かないとだめだと思ひまして、うまく町長が音頭とっていただいて、伊藤議員通じて、国土交通省のほうに解決できる方向で動いていただきたいと、汚れた水よりはきれいな水のほうが水道としておいしいと思うし、また、水が足りないじゃなくて、農業用水や工業用水にまわっているものを簡単にチェンジできないかと、簡単にはできないと思ひますが、最後の仕事としてひとつ動いて欲しいと思ひます。(棕岡)

答) この上水道、要は長良川から木曾川に替えて欲しいという。これは随分前からありました。特に半田市さんが音頭を取られて中心でやられましたが、なかなかこれは思うようにいかない。結局、長良川のあそこに作った問題もあるでしょうね。施設の問題もあると思ひます。ですから、色々なことがあって、私は逆に名古屋市に水が余っているはずだか

ら、河村さんと仲良しになって、そっちからくればいいじゃないかという話も名古屋市周辺の市町で集まっているときにも発言をしています。しかし、これは難しい問題です。それから、ご存知のように平成6年の時に大湯水があって、これは大変なことが起こりました。これを受けて今では知多半島で湯水する、断水するという事は今のシステムではないということです。確かに、上流部からとったほうが水はきれいに決まっています。常識だと思います。私もできればそうしたいのですが、これは非常に難しく、これが最後の仕事であろうが、最初の仕事であろうが、ちょっとなかなか難しいところがあります。(町長)

質問) 赤い羽根の募金で使い道が一枚の紙で来ているのですが、お金募金するのはご存知かとは思いますが、お願いに行くと、何に使われるのかと聞かれても、あの内容だとちょっとわからないのです。子どもたちの費用だとか、老人の費用だとか、わけのわからないことが書いてあって、きれいごとで、もう少し具体的に、施設の子どもにお菓子配ったとか、老人の施設になんとかとか、もうちょっと具体的に書けないかと思って、聞かれても答えられないような紙切れじゃ参考にならないと思って、もう少し具体的に支障の無い範囲で、どういったことに使われているかを改善していただきたいと思っています。(棕岡)

答) 赤い羽根の具体的な用途についての説明が下手くそではないかという話だと思います。これは今聞いていて確かにそうだと思います。恐らく私どもが作っているのではなくて、恐らく赤い羽根の元から出てきたものを皆さん方にお配りして、お示ししているだけだと思いますので、もう少し町としても、赤い羽根の募金をしやすいような、情報を流せるような方法も担当のほうでも考えさせていただいて、実際お孫さんたちのここにも使われましたよとかであれば、喜んでという形がとれるようなそういう助け合いの基本部分のことを進めていかなければいけないと思いました。毎年やっているから、この時期が来たから赤い羽根配って募金しているという風ではいけないということをおっしゃったと思いますので、十分検討させていただきたいと思います。(町長)

質問) 阿久比スポーツ村の命名権を売れないだろうか。(矢口)

答) これも考えるには考えたことがあります。ちょうどインターのそばですから、昔佐川急便なら佐川急便球場だとかいうかたち、ただ、今盛んに名古屋市等色々なところで命名権をやっておりますが、これの考え方ですね。それで何がしかの確かに年間数万円のお金は入るかも知れませんが、私はあの阿久比球場を前の町長さんが手に入れられまして、私になってからあそこをオープンしたわけなのですが、非常にはじめお荷物だと感じておりました。あれをなんとか利用するだけではなくて、阿久比町という名前を愛知県下の中で広めるための広告塔の役目を果たそうという目的もひとつ与えました。ですから、そのひとつが甲子園の予選を半田球場でやっていたのを阿久比球場に移させるのには努力いたしました。そうすることで、C A C等のテレビ局が入っていただいて、テレビに映るからバックネット裏には阿久比球場という看板をつけさせるとか、ですからNHKのニュースの

中でも甲子園が来れば阿久比球場での結果ということで、阿久比という名前が、特急が停まって名鉄の名古屋駅でも良く言われるようになった。また、阿久比球場という形ででていますので、それを何とか球場ですとか色々な名前を使うっていうのはちょっと考えていないのですね。また、そうであったらもう少し違うところで考えたいと思います。ですから、今のところはその考え方はありません。阿久比という名前を一生懸命売っていくほうで頑張っている最中です。(町長)

質問) ふるさと納税という言葉が聞きますが、阿久比町にも何か特産物はあると思うのですね。そうしたものを誰かこういったものがあるよとそう言っていただいて、阿久比としても阿久比を売り込むために、ぜひ、そういった特産物をよその地域へPRしていただきたいと思うのですが。(矢口)

答) ふるさと納税の制度は数年前に始まって、今特産物等を付けて、例えば3万円だったら米を何キロだとか、牛肉をどれだけだとか聞きますので、また、そういったところにはすごくふるさと納税、と言っても寄附金になるのですが、集まっていることは承知しております。ただ、これをやると確かにお金は入ってくるけども、当然お返しもかなりの額になるものですから、その市町村の予算規模がすごく膨れるということはありません。ただ、それがあっても名前が売れるということと特産物をそれだけ発信できるという有効な手立てであるということは思っております。ただ、今現在これが全国的に行き過ぎた状況にありまして、当初のふるさと納税の制度の趣旨をよく理解して、そういうやり過ぎたことはちょっと考えるようにということは総務省から全国市町村に通達がでております。ただ、実際に有利な面もあるにはありますので、近隣のところでもそういったことを考えだしていると情報としては入ってきています。本町としてもそういったことを踏まえて、検討したいとは考えております。(総務部長)

意見) 行政もふるさと創生というか、地域を活性化しないといけないといわれているわけで、これは進める価値があると思いますので、ぜひ、頑張って阿久比町としてもやっていただきたいと思います。(矢口)

6. 閉会あいさつ

本日は、貴重なご意見をいただきありがとうございました。少しでも今後の町政運営に反映するよう努力しますのでよろしくお願いたします。

以上をもちまして平成27年度未来づくり懇談会を終了します。(副町長)